



支部だより

第 92 号

編集・発行

〒464-0039

名古屋市千種区日和町2-18

名古屋地方気象台内

日本気象学会中部支部

電話 052-751-5124

2022.06.14

目次

・2022年度（令和4年度）の始まりにあたって……………	1
・中部支部第25期役員の補充……………	2
・2022年度（令和4年度）中部支部総会のお知らせ……………	3
・気象サイエンスカフェの開催報告……………	8
・事務局からのお知らせ……………	9

■2022年度（令和4年度）の始まりにあたって

日本気象学会中部支部長 中三川 浩

名古屋地方気象台の中三川です。昨年4月に支部長に就任し2年目となりました。

さて、昨年の天候を振り返りますと、7月に静岡県熱海市で大規模な土砂災害が発生し多くの犠牲者が出るなど、活発な梅雨前線の影響等により、全国各地で大雨災害が発生しました。また、気象災害につながりうる1時間に50ミリ以上の非常に激しい雨の回数が、東海地方では、ここ40年程度でおよそ1.4倍に増加しています。地球温暖化の進展により、このような大雨はさらに増加し、災害リスクが高まると予想されています。

こうした大雨災害リスクの増加を背景に、地球温暖化研究やその社会利用に関する関心が高まっていることから、中部支部では、昨年12月の日本気象学会秋季大会で「気象学の最新知見を活かした地域との協働～地球温暖化時代の持続可能な社会への転換を目指して～」とのテーマでシンポジウムを企画・実施しました。気象学の研究者、気象キャスター、三重県副知事といったそれぞれの立場から、テーマに関わる最新の研究、情報の発信、行政での取り組みについて講演をしていただき、最新の研究を実社会で活かすための方策についてパネルディスカッションを行いました。シンポジウムはオンラインで実施したこともあり、多くの方にご視聴いただくことができました。

また、昨年9月の公開気象講座は、オンラインとしたことで北陸地方の会員も含めて広域からの参加が見込まれたため、これまで本講座でとりあげたことのない「豪雪」をテーマとして実施しました。このほか、日本気象予報士会東海支部と共同で実施している気象サイエンスカフェは、本年3月までにオンラインで2回実施しました。

今年度も、公開気象講座と気象サイエンスカフェを引き続き実施するとともに、昨年度は日本気象学会秋季大会準備のため実施できなかった支部研究会も名古屋大学にて実施する予定です。

中部支部では、皆様の学会活動が円滑に行われるよう、また、新型コロナウイルス感染対策も踏まえたオンラインでの活動も併用しながら、事業を進めてまいります。皆様のご理解・ご協力方、よろしくお願いたします。

■中部支部第25期役員の補充

2021年10月1日付けの人事異動により、川村文芳会計監査が転出しました。日本気象学会中部支部選挙細則第4条の規定に従い、沼本秀紀会員を会計監査として補充しました。2022年4月1日付けの人事異動により、吉村香理事の所属が変更となりました。また、2022年4月1日付けの人事異動により、原基幹事と渡辺記秀幹事が転出しており、林広樹会員と鈴木光会員を幹事として補充しました。同時に、民田晴也幹事に代わり、大畑祥会員を幹事として補充しました。任期はいずれも2022年6月30日までです。

	新	旧
東海地区常任理事	吉村 香 (岐阜地方気象台)	吉村 香 (津地方気象台)
幹事	林 広樹 (名古屋地方気象台)	原 基 (名古屋地方気象台)
幹事	鈴木 光 (名古屋地方気象台)	渡辺 記秀 (名古屋地方気象台)
幹事	大畑 祥 (名古屋大学)	民田 晴也 (名古屋大学)
会計監査	沼本 秀紀 (日本気象協会中部支社)	川村 文芳 (日本気象協会中部支社)

補充後の役員は以下のとおりです。

東海地区常任理事・支部長	中三川 浩	(名古屋地方気象台)
東海地区常任理事	坪木 和久	(名古屋大学)
東海地区常任理事	立花 義裕	(三重大学)
東海地区常任理事	田口 正和	(愛知教育大学)
東海地区常任理事	吉村 香	(岐阜地方気象台)
東海地区常任理事	槇野 泰夫	(日本気象予報士会東海支部)
北陸地区理事	安永 数明	(富山大学)
長野・静岡地区理事	轡田 邦夫	(東海大学)
会計監査	沼本 秀紀	(日本気象協会中部支社)
幹事	林 広樹	(名古屋地方気象台)
幹事	鈴木 光	(名古屋地方気象台)
幹事	大畑 祥	(名古屋大学)

■2022 年度（令和 4 年度）中部支部総会のお知らせ

1. 日時：2022 年 7 月 14 日（木）15 時 00 分
2. 場所：名古屋地方気象台会議室
3. 総会次第
 - (1)開会の辞
 - (2)支部長挨拶
 - (3)議長選出
 - (4)出席者・委任状報告
 - (5)議案審議
 - (6)議長解任
 - (7)閉会の辞

ご欠席の場合、同封の総会参加票にご記入・署名の上、ご返送をお願い致します。
議案の番号は総会参加票に示された番号です。議案の詳細を以下に示します。

総会議案

議案 (1) 2021 年度 (令和 3 年度) 中部支部事業報告

- 4月13日 2021年度日本気象学会秋季大会の第3回実行委員会をオンラインで開催しました。
- 5月24日 支部常任理事会を開催しました。第24期役員補充、総会議案の2020年度事業報告・会計監査報告、および2021年度事業計画・予算案を審議しました。
- 6月30日 支部だより第90号を発行しました。支部長挨拶、第24期役員補充、2021年度支部総会案内と議案、2020年度支部研究会と気象サイエンスカフェの開催報告を掲載しました。
- 7月29日 支部理事会および支部総会を開催しました。支部理事会では、2020年度の事業報告、会計監査報告および2021年度の事業計画案、予算案について承認されました。支部総会では、各議案が賛成多数で可決されました。
- 7月29日 2021年度日本気象学会秋季大会の第4回実行委員会をオンラインで開催しました。
- 9月3日 第24回公開気象講座「豪雪」をオンラインで開催しました。講師に荒木健太郎氏(気象庁気象研究所)、安永数明氏(富山大学)、中井専人氏(防災科学技術研究所)を招き、太平洋側の豪雪、富山で積もる雪・積もらない雪、日本海側の豪雪について、ご講演いただきました。また、水嶋千詠 気象予報士にファシリテータをご担当頂きました(参加者約350名)。
- 10月8日 2021年度日本気象学会秋季大会の第5回実行委員会を三重大学とオンラインの併用で開催しました。
- 10月10日 第21回気象サイエンスカフェ in 名古屋(オンライン)を開催しました。中里真久氏(気象大学校)を講師に招き、「竜巻などの激しい突風に備える」と題して、ご講演いただきました(参加者55名)。
- 11月11日 2021年度日本気象学会秋季大会の第6回実行委員会をオンラインで開催しました。
- 11月29日 2021年度日本気象学会秋季大会の第7回実行委員会をオンラインで開催しました。
- 12月2日 2021年度日本気象学会秋季大会を開催しました(オンライン)。
～3日
- 12月6日 2021年度日本気象学会秋季大会を開催しました(三重大学にて現地開催)。
～8日
- 2月13日 第22回気象サイエンスカフェ in 名古屋(オンライン)を開催しました。飯島慈裕氏(三重大学)を講師に招き、「東海三県の降雪特性に関する考察 - 2017年1月、2021年12月の事例をもとに」と題して、ご講演いただきました(参加者85名)。
- 2月22日 支部だより第91号を発行しました。日本気象学会2021年度秋季大会開催報告、第24回公開気象講座の報告、第21回気象サイエンスカフェ in 名古屋の報告、2021年度支部総会報告を掲載しました。

議案 (2) 2021 年度 (令和 3 年度) 中部支部会計報告

2021年度 中部支部予算と実行額 (2022年3月末日現在)

(2021年4月1日～2022年3月31日)

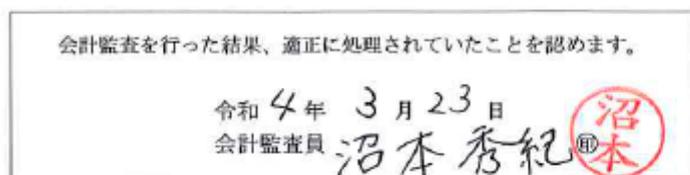
単位：円

	予算額	実行額	残額	備考
I 収入の部				
事業活動収入				
本部交付金	682,400	683,600		
公開講座補助金	0	0		
普及啓発活動への助成	60,000	60,000		
事業収入				
公開講座参加費 (テキスト代含む)	0	0		
雑収入				
預金利子	5	13		
その他	0	0		
事業活動収入計(1)	742,405	743,613	-1,208	
II 支出の部				
事業活動支出 (事業費支出)				
支部日より	170,000	68,722	101,278	No90, No91
印刷費	80,000	27,500	52,500	No91はPDF作成のみで 郵送せず
編集費	0	0	0	
発送費	90,000	41,222	48,778	
ホームページ運営費	0	0	0	
サーバー借料	0	0	0	
公開講座開催費	90,000	34,022	55,978	
会場費	0	0	0	
運営費(印刷費含む)	10,000	11,770	-1,770	
講師謝金・旅費	80,000	22,252	57,748	
支部研究会開催費	0	0	0	
会場費	0	0	0	
運営費	0	0	0	
要旨集印刷費	0	0	0	
参加旅費	0	0	0	
その他事業費	0	0	0	
サイエンスカフェ (3回開催)	69,000	8,000	61,000	
1) 東海地区内(2回)	36,000	8,000	28,000	
チラシ・資料印刷	6,000	0	6,000	
講師謝金	20,000	8,000	12,000	
講師交通費	10,000	0	10,000	
2) 中部地区内 (1回)	33,000	0	33,000	
チラシ・資料印刷	3,000	0	3,000	
講師謝金	10,000	0	10,000	
講師交通費	20,000	0	20,000	
振込み手数料	0	0	0	
(管理費支出)				
総会・理事会費	68,000	25,622	42,378	
総会資料印刷費(往復はがき)	50,000	25,202	24,798	
理事会開催費	3,000	0	3,000	
理事会交通費	15,000	420	14,580	
秋季大会実行委員会交通費 (2回実施)	20,000	0	20,000	
役員選挙費	0	0	0	
選挙公報・投票用紙印刷・発送費	0	0	0	
選挙管理委員会費	0	0	0	
事務費	36,400	28,409	7,991	
通信運搬費	31,400	28,409	2,991	
消耗品費	5,000	0	5,000	封筒角2 (500枚)
労務費	0	0	0	
その他支出 設備費	0	0	0	
事業活動支出計(2)	453,400	164,775	288,625	
III 予備費				
予備費支出計 (3)	934,839	0	934,839	
本部交付金留置き	0	0	0	
本部交付金追加(4)	0	0	0	
当期収支差額 (A) = (1)+(4)-(2)-(3)	-645,834	578,838		
前期繰越収支差額 (B)	645,834	645,834		
次期繰越収支差額 (A)+(B)	0	1,224,672		

議案 (3) 2021 年度 (令和 3 年度) 中部支部会計監査報告

2021 年度中部支部会計報告について、沼本会計監査より適正に処理されている旨の報告がありました。

支部交付金残高 1,224,672



議案 (4) 2022 度 (令和 4 年度) 中部支部事業計画

- 4 月 16 日 気象サイエンスカフェ in 信州松本の開催。
栗澤 徹氏 (北アルプス西穂山荘常務兼支配人) をゲストスピーカーとして招き、「山の気象と遭難救助」をテーマとして、ご講演いただく。
- 4 月 27 日 中部支部第 25 期役員選挙の告示。
- 5 月 17 日 第 1 回支部常任理事会の開催。第 25 期役員補充、2021 年度事業報告・会計報告、2022 年度事業計画・予算案の決定。
- 6 月 14 日 支部だより第 92 号の発行。支部長挨拶、第 25 期役員補充、支部総会の案内と議案、気象サイエンスカフェの開催報告を掲載。総会参加票を同封して会員の皆様に発送。
- 6 月 23 日 中部支部第 25 期役員選挙。
- 7 月 14 日 第 1 回支部理事会および支部総会の開催。
- 9 月上旬 公開気象講座 (オンライン) の開催。
- 11 月上旬 支部だより第 93 号の発行。支部総会報告、支部研究会のプログラム等を掲載予定。
- 11 月下旬 2022 年度支部研究会の開催。

この他に、気象サイエンスカフェを名古屋で 2 回、名古屋以外の中部支部内で 1 回の開催を計画しています。

議案 (5) 2022 年度 (令和 4 年度) 中部支部予算案

2022年度 (令和4年度) 収支予算書 (案)

(2022年4月1日～2023年3月31日)

単位:円

	予算額	前年度予算額	増減	備考
I 収入の部				
事業活動収入				
本部交付金	0	682,400	-682,400	注1
公開講座補助金	0	0	0	
普及啓発活動への助成	0	60,000	-60,000	注2
事業収入				
公開講座参加費 (テキスト代含む)	0	0	0	
雑収入				
預金利子	5	5	0	
その他	0	0	0	
事業活動収入計(1)	5	742,405	-742,400	
II 支出の部				
事業活動支出 (事業費支出)				
支部日より	85,000	170,000	-85,000	No92, No93 注3
印刷費	40,000	80,000	-40,000	
編集費	0	0	0	
発送費	45,000	90,000	-45,000	
ホームページ運営費	0	0	0	
サーバー借料	0	0	0	
公開講座開催費	70,000	90,000	-20,000	注4
会場費	0	0	0	
運営費(印刷費含む)	20,000	10,000	10,000	
講師謝金・旅費	50,000	80,000	-30,000	
支部研究会開催費	280,000	0	280,000	
会場費	30,000	0	30,000	
運営費	50,000	0	50,000	
要旨集印刷費	0	0	0	
参加旅費	200,000	0	200,000	
その他事業費	0	0	0	
サイエンスカフェ (3回開催)	69,000	69,000	0	
1) 東海地区内 (2回)	36,000	36,000	0	
チラシ・資料印刷	6,000	6,000	0	
講師謝金	20,000	20,000	0	
講師交通費	10,000	10,000	0	
2) 中部地区内 (1回)	33,000	33,000	0	
チラシ・資料印刷	3,000	3,000	0	
講師謝金	10,000	10,000	0	
講師交通費	20,000	20,000	0	
(管理費支出)				
総会・理事会費	68,000	68,000	0	
総会資料印刷費(往復はがき)	50,000	50,000	0	
理事会開催費	3,000	3,000	0	
理事会交通費	15,000	15,000	0	
秋季大会実行委員会交通費 (2回実施)	0	20,000	-20,000	
役員選挙費	77,000	0	77,000	
選挙公報・投票用紙印刷・発送費	75,000	0	75,000	
選挙管理委員会費	2,000	0	2,000	
事務費	36,400	36,400	0	
通信運搬費	31,400	31,400	0	注5
消耗品費	5,000	5,000	0	
労務費	0	0	0	
その他支出 設備費	0	0	0	
事業活動支出計(2)	685,400	453,400	232,000	
III 予備費				
予備費支出計 (3)	539,277	415,444	123,833	
本部交付金留置き	0	0	0	
本部交付金追加(4)	0	0	0	
当期収支差額 (A) = (1)+(4)-(2)-(3)	-1,224,672	-126,439		
前期繰越収支差額 (B)	1,224,672	126,439		
次期繰越収支差額 (A)+(B)	0	0		

注1: 例年1,200円×会員数+350,000円(個人会員数278名: 令和4年4月現在)で交付されるが、前年度までの繰り越し額が多いため、年度当初は配算されない。

注2: サイエンスカフェ等1件につき、20,000円が交付されるが、前年度までの繰り越し額が多いため、年度当初は配算されない。

注3: No. 92は総会参加票があるため印刷・郵送。No. 93はPDFを中部支部HPに掲示のみで郵送なし。

注4: オンライン開催を想定して計上。

注5: ZOOMのプロライセンス (2,200円/月×12ヶ月分=26,400円を含む)

■気象サイエンスカフェの報告

気象サイエンスカフェは、日本気象予報士会との共催イベントです。中部支部では、例年、名古屋市内で2回、名古屋を除く中部支部内で1回の計3回を、対面形式またはオンライン形式で開催しています。

◆第22回気象サイエンスカフェ in 名古屋 Zoom

日 時 : 2022年2月13日(日) 午後3時から午後4時40分

講 師 : 三重大学 生物資源学研究科 飯島慈裕 教授

テーマ : 東海三県の降雪特性に関する考察

—2017年1月、2021年12月の事例をもとに

参加者 : 85名

今回で、4回連続のZoom開催となりました。

東海地方の降雪について、三重大学生物資源学研究科の飯島慈裕教授にご講演をお願いしました。

先生はご講演の中で、北極のバレンツ海の海氷減少が、シベリア西部の寒気の形成に大きく影響していることを指摘されました。また、東海地方の大雪には、日本海の風向やJPCZなどの地理的位置が関係しているという研究成果を紹介されました。

とても分かりやすく、興味深い内容で、1時間あまりの講演時間が短く感じられるほど引き込まれてしまいました。

東海地方のローカルな気象に関する話題にも関わらず、東海地方以外からもたくさんの方に参加していただき、たいへん盛り上がりました。

(日本気象予報士会東海支部)

◆気象サイエンスカフェ in 信州松本

日 時 : 2022年4月16日(土) 午後1時から午後4時

場 所 : 長野県 松本市市民活動サポートセンター

講 師 : 北アルプス西穂山荘常務兼支配人、気象予報士 栗澤 徹 氏

テーマ : 山の気象と遭難救助

参加者 : 31名

日本気象学会中部支部と日本気象予報士会長野支部との共催により開催。コロナ禍の中、Zoom等を使用せず会場での開催でしたが、35人の定員いっぱいの申込をいただき、当日も31人の参加を得て実施することができました。

講師の栗澤さんは、北アルプスの西穂山荘の支配人、遭難対策協議会の救助隊員、そしてピンポイントの気象予報を行う山の気象予報士という多彩な顔を持つ方。

講演は「山の気象」「山岳遭難と遭難救助」「山岳気象予報の活用」の3部構成により、300枚以上のスライドと動画を駆使して行われました。高層天気図の重要性、凍傷や低体温症など気象遭難の恐ろしさなどご自身の実体験に基づく臨場感あふれるお話と、「滝雲」や「へりによる救助」などの迫力満点の動画によりあっという間に時間が経過。参加の皆さんからの鋭い質問や楽しいやりとりをしているうちに予定の3時間をオーバーしてしまう大盛況となりました。



講演の様子

コロナ対策で、本来は主催者側でお菓子や飲み物を用意するところが各自の持参形式にし、アクリル板で隣の方との間を仕切らざるを得ませんでした。サイエンスカフェの雰囲気は何とか味わうことができたと思います。

やはり対面はいいですね。皆さん、ご協力ありがとうございました。

(長野支部 大塚俊英)

■事務局からのお知らせ

◆公開気象講座(オンライン)のお知らせ

2022年度の公開気象講座は、9月上旬にオンラインで開催することを計画しています。テーマは「気候や人間の健康に影響を及ぼす大気中の微粒子(エアロゾル)」を予定しています。詳細が決まりましたら、支部Webおよびメーリングリストにて、皆様にお知らせいたします。

◆事務局からお願い

日本気象学会本部および中部支部から各種案内を電子メールにて配信しております。ご案内が届いていらっしゃる会員の皆様、ご面倒をおかけいたしますが、
日本気象学会 会員情報変更ページ

<https://www.metsoc.jp/membership-2/update-2>
から最新の電子メールアドレスのご登録をお願いいたします。

